熊高卒業50周年記念同窓会

令和5年3月29日(水)　午後6時開会

場所　熊本市桜町 SAKURAMACHI HILLS 7F
LAZOR GARDEN KUMAMOTO
（ラソールガーデン熊本）

二次会 CIB レストランバー　キーブ

記念行事 (時刻は変更有)
12:30 熊高集合
中本先生記念授業 写真撮影
記念品贈呈(学校と相談)
15:00 熊本城見学

記念旅行 3月30日(木)~3月31日(金)　長崎方面

まばたきの往古来今

一九七〇年熊本を離れ、一九七八年京都で胸部外科医になり静岡へ。京都、Montreal（McGill大学）経由で一九九一年静岡。二十八年間約四千人の呼吸器手術後、二千十九年退任。

今、健診と後進チームの玄武役。若い世代に「クリーンな吸気、何を食べ、誰に出会ったかで決まる。

絶煙し肺を大事に、隙間時間に貯筋」中高年に「いつ止めても絶煙は良き事」と声掛け。二〇〇八年、妻と日本橋から東海道五三次へ、二六日／一年半で三条大橋。

二〇〇九年より二十九日／四年余で中山道完歩。昨今、週末は近くの賤機山の畑で野菜作り、ナノレベルで食料自給率アップ

From the known to an unknown. Koji

（八室　千原 幸司）

古希過ぎてなお現役

二〇一六年三月、二十年間勤めた弘前大学医学部教授職を退職し、故郷熊本市の済生会熊本病院循環器内科に再就職しました。

熊本地震の直前でした。一九七六年の卒業以来、熊本大学→米国アラバマ大学→熊本大学→弘前大学と、教育研究機関でのみ勤務し、済生会熊本病院で初めて民間病院に勤めることになりました。

大学の教授職は、医学部学生の教育、大学院生の研究・論文指導、附属病院での高度医療と地域医療への貢献　そして学会活動などを担い、多忙に継ぐ多忙でした。しかし教室秘書やスタッフのサポートにより、いわゆる雑用的な仕事はわずかで、いま振り返りますと好きな仕事に集中でき、随分と楽をさせてもらいました。

そんな人生から民間病院に移りますと、外来診察後の検査・治療・入院の説明、同意書の取得などなど、多くを自分一人でこなさなければなりません。

当初は慣れない仕事に時間がかかりましたが、次第に要領が良くなり、短時間でこなせるようになり、そして患者さんとの会話も楽しめるようになりました。

循環器が専門ですので、ほとんどは心臓病の患者さんです。自ずと同世代の方が多く、診察よりも雑談が多くなり、ゴルフ談義に花が咲くこともあるくらいです。

現在は週二日の外来診療と週二日のカテーテル治療を担当しています。まだまだ現役です（写真左）。

熊本県だけでなく、他県からの紹介も多く、やりがいのある仕事を続けれることに感謝しています。体が動く間は、そして病院からもう来なくていいよと言われるまで、もう数年は働けるかなと思っています。皆さん、心臓病でお困りの方、是非ご相談下さい。

僕は主として不整脈を診ていますが、とくに「心房細動」は高齢になるほど増加し、高血圧、肥満または過体重、アルコール、睡眠無呼吸、心筋梗塞などの心臓病があると起きやすくなります。心房細動は心不全や脳梗塞のリスクとなる不整脈で、健康長寿を阻害する病気です。心房細動にならないためにも血圧をきちんと治療し、体重を適正にし、節酒できれば禁酒し、睡眠無呼吸を治療し、運動を楽しみながら健康長寿を目指しましょう。

（九室　奥村 謙）

社会的自立の手伝い

知的に障がいのある方々の「社会的自立」の手伝いをするようになってから三十年近くなります。一緒にパン作りをしたり、商品の販売やイベントの手伝いをしたりして楽しく過ごしています。まるで天使のように明るくて優しい皆さんで、言い争うこともなく和気あいあいとして、その様子に私が元気をもらっています。十五年前に大病をして、それでもどうにか大した後遺症もなく「生かされている」私にとってまさに「生きがい」であり「ライフワーク」でもあります。

翻ってみて、世界中には「貧困や飢餓」、「差別」がなんと多いことでしょう。

今回の「古希記念文集」発行で、五十数年前の「高校卒業文集」に「『アフリカ・ビアフラの悲劇』を忘れないでおこう！！」と書いたのを想い出しました。

年は重ねても人類はあまり進歩しないものですね（笑&怒り）。

（十一室　信國 宏征）

心の欲する所に従えども矩を踰えず

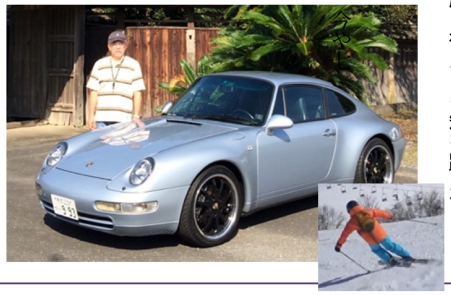
子曰く
三十にして立つ　吾十有五にして学に志す
五十にして天命を知る　四十にして惑わず
七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず　六十にして耳順う

熊本高校入学が十五歳でした。はたして学に志していたのでしょうか。光陰矢のごとし、七十歳を超えてしまいました。その間続いたふたつの趣味に今も夢中です。

いつまで続けられるか、体力のあるかぎり続けたい、心の欲するままに。

決して矩は踰えないのですから。孔子は七十四歳で亡くなったようです。紀元前の時代ですからかなり長生きだったのでしょう。二一世紀に生きている我ら、少なくともプラス十歳は越えたいものです。

（十室　坂本 公宣）



人生に悔い残るも仕事と旅行の日々

あっという間の五十年、我が人生は悔いばかりで良い思い出は多くありません。高校時代は写真部でしたが、熊本城で撮影した山本陽子さんのポートレートを校長室に飾っていただいたことが思い出だされます。

卒業後は繊維系の会社にお世話になり、四十年前に運輸省港湾局からの伊勢湾台風シミュレーション業務で（越波流量予測）風速、風向分布図（天気予報に出る矢印図）を思いつき、（大型計算機で計算一日、日本に一台のXYプロッタで印刷一枚に半日）提出したところ、すごいと喜んでいただいたことが思い出です。

退職後、再就職して海水淡水化装置の設計などに従事していますが、動けるうちに旅行に行こうと、あちこち飛び回っておりますが、コロナ前はロシアに行き、記念式典の戦車群に圧倒され、プーチン大統領と故安倍総理が会食した店で同じピロシキを食べました。おいしかった！

（九室　林田 晋一郎）

熊高四五会世話人組織表（二〇一七年三月発足）

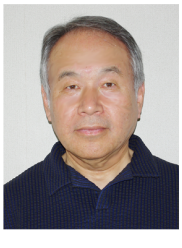
会長　木村秀崇（九室）
副会長　永田壮一（八室）
副会長　鳥崎（田尻）和子（六室）
広報（メール担当）　迫 恒久（九室）
会計　椿喜久雄（七室）
事務局　安藤博史（一室）
〈熊本地区〉クラス代表世話人
一室　境一成　田上講児　森　博史
二室　大森 男　加納武夫　吉村郁也　杉山泰司
三室　内野昌時　橋口　誠　松窪英人
四室　渡辺　宏
五室　太田原和敏
六室　本田一雄
七室　深田進也　田尻雅則
八室　東 秀優
九室　奥村 謙　坂本英俊
十室　坂本公宣　高宗孝輔　西川清明　中川香史郎
十一室　信國宏征
〈ゴルフ会〉一室　松永和美
〈福岡地区〉十室　江藤徹郎
〈関西地区〉三室　徳光弘介　九室　林田晋一郎
十一室　稲葉 和夫
〈東海地区〉九室　山下 司
〈東京地区〉輪番制　二〇年度～　十室　谷 政憲

編集後記

木村会長から突然に熊高卒業五十年記念会報の編集依頼があり、引き受けたのですが、編集用のソフトも無く、試行錯誤の状態。それでも何とか力尽くで編集しました。

紙面の制約もあり読みにくいと思いますがご高覧ください。

尚、当初会報への寄稿は三百字以内でお願いしていましたが、皆さんの熱意が伝わる長文が多く、とても計画の二面では収まらず六面の会報になりました。それでも、紙面の都合上、割愛させていただいた寄稿もあります。ご了承ください



（九室　迫 恒久）